

学振第175委員会 平成28年「化合物薄膜太陽電池分科会」夏の学校 お知らせ

化合物薄膜太陽電池分科会会長  
東京工業大学 山田 明

化合物薄膜太陽電池の恒例「夏の学校」を下記のように企画致しました。  
今回は一度原点に戻り、薄膜太陽電池の評価と分析を中心に企画を行いました。  
初めに、平衡論を用いたショックレー・クワイサーモデルによる  
理論限界効率に関するご講演とデバイス解析からの効率を議論した後、  
午後に太陽電池の最新の評価・分析をご講演いただくという形式になっています。  
是非、ご参加頂けますようお願い申し上げます。

### 記

日時：平成28年8月31日（水） 10時30分～17時10分  
場所：東京工業大学 大岡山キャンパス  
多目的ホール（下記webの10番の建物1階）  
<http://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/midorigaoka.html>  
参加費：無料  
参加資格：学振175委員会委員、委員代理、および委員の所属する  
機関のどなたでも参加可能  
参加申込締切日：8月24日（水）  
申し込み先：古川（庶務担当幹事）

### \*\*\* プログラム \*\*\*

（司会：片桐裕則）  
10:30 - 10:40 はじめに 山田明（東工大）  
10:40 - 11:20 太陽電池の効率限界—ショックレー—クワイサー理論の再考察  
波多腰玄一（早稲田大）・伊賀健一（東工大・名誉教授）  
11:20 - 12:00 化合物薄膜太陽電池のデバイス解析  
山田明（東工大）  
昼食（1時間15分，幹事会）

（司会：池田茂）  
13:15 - 13:30 化合物太陽電池のSEM評価  
片桐裕則（長岡高専）  
13:30 - 14:10 太陽電池特性の評価：I-V及びEQEを中心として  
峯元高志（立命館大学）  
14:10 - 14:50 X線回折による結晶構造評価とGISおよびCZTS太陽電池に  
関係する状態図の見方  
和田隆博（龍谷大）  
休憩（10分）

（司会：峯元高志）  
15:00 - 15:40 SEM, TEM, EBICなど電子顕微鏡を用いた評価  
陶山直樹（東工大）  
15:40 - 16:20 TR-PL法による化合物薄膜太陽電池の評価  
根上卓之（パナソニック）  
16:20 - 17:00 CIGS太陽電池の放射線劣化評価  
川北史朗（JAXA）  
17:00 - 17:10 おわりに 和田隆博（龍谷大）